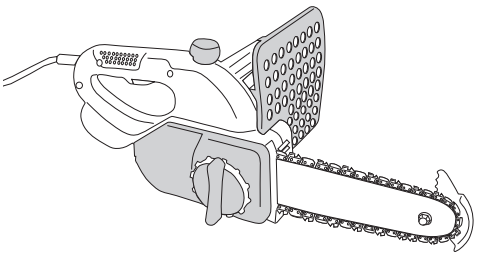
TOSHIBA

東芝電気チェーンソー
取扱説明書

形　名

HC-205A



もくじ

電動工具安全上のご注意 …1
チェーンソーご使用に際して……4
二重絶縁について……6
キックバックについて……6
おすすめ……6
騒音防止規制について……6
各部のなまえ……7
仕様……8
付属品……8
点検……8
用途……8
正しい使い方……9
■ 操作方法 ……9
【1】コードの接続 ……9
【2】チェーンソーの持ち方 ……9
【3】スイッチの操作方法……10
■ ご使用前の準備 ……10
【1】ソーチェーンの張り確認……10
【2】チェーンオイルの給油……11
【3】コード接続……11
【4】持ち方……11
【5】スイッチの入れ方・オイル吐出確認 …11
【6】切断……12
丸太の切断 ……13
細木の切断 ……13
お手入れのしかた ……13
■ ソーチェーンの張り調整・交換 …14
■ チェーンオイルの補充 ……15
■ 清掃 ……15
■ 定期点検 ……16
■ ソーチェーンの目立て ……16
■ 保管 ……16
■ 修理のときは ……16
サービスショップ ……17

ご使用の前に

お手入れ サービスショップ

- このたびは、東芝電気チェーンソーをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解のうえで安全にご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

電動工具安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産（感電・けがなど）の損害（火災）を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を守ってください。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
⚠ 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容”を示します。
⚠ 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容”を示します。
注	製品の据え付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

表示	図記号の意味
禁止	⃠ は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	● は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△ は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■ 免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本商品は「家庭用」となっています。商品の使用または使用不能から生ずるいかなる他の損害（事業利益の損失、逸失利益、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない機器との組み合わせによる誤動作・故障などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

なお、「△注意」「注」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告

1）作業場は、いつもきれいに保ってください。

●ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2）作業場の周囲状況も考慮してください。

電動工具は雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しない使用しないでください。 ●感電の原因になります。	 水ぬれ禁止
作業場は十分に明るくして、可燃性の液体やガスのある所では使用しないでください。 ●爆発・発火の原因になります。	 使用禁止

⚠ 警告

3）感電に注意してください。電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

●感電の原因になります。

4）作業者以外（特に子供）、電動工具やコードに触れさせたり作業場へ近づけないでください。

●感電・けがの原因になります。

接触禁止

5）使用しない場合は、乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所にきちんと保管してください。

●感電・けがの原因になります。

6）安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。無理に使用しないでください。

●本体にかかる負荷が大きくなり、モータの焼損の原因になります。

7）作業に合った電動工具を使用してください。

●小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。

●指定された用途以外には使用しないでください。

8）きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。

●回転部に巻き込まれる恐れがあり、けがの原因になります。

●屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

●長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9）作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

●粉じんが作業の邪魔になり、けがの原因になります。

10）騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

●作業中に騒音が気になり、けがの原因になります。

11）コードを乱暴に扱わないでください。

コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。

●コードの断線・発火・発煙の原因になります。

乱暴に扱わない

コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

●コードの断線・発火・発煙の原因になります。

熱・油・角に近づけない

12）無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

●けがの原因になります。

13）コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または全国各地の東芝電動工具サービスショップに修理を依頼してください。

⚠ 警告

14）次の場合は、電動工具のスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

使用しない、修理する、刃物等の付属品交換、給油、その他危険が予想される場合
●感電・けがの原因になります。

差し込みプラグをコンセントから抜く

15）不意な始動は避けてください。

コンセントにつないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。また差し込みプラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
●本体が作動し事故の原因になります。

差し込みプラグをコンセントから抜く

16）屋外使用に合った延長コードを使用してください。

屋外で使用する場合、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。また、使用する前に損傷がないことを確かめてください。

17）電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等に十分注意して慎重に作業してください。疲れている場合は、使用しないでください。

●事故の原因になります。

疲れているときは使用を禁止

18）損傷した部品がないか点検してください。

使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するかまた所定の機能を発揮するか確認してください。

可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。

損傷した保護カバー、その他の部品の交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または、全国各地の東芝電動工具サービスショップに修理を依頼してください。

スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

19）指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

●取扱説明書及び弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

使用禁止

20）電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

●本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造・分解しないでください。

分解禁止

●修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップに依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

チェーンソーご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、チェーンソーをご使用の際には、さらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

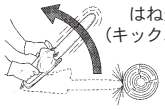
1）使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。 電圧：100Ｖ,単相交流：50－60Hzで使用すること。	
●表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。	 指定の電圧で使用する

2）雨中や湿気の多いところで使用したり、放置しないでください。	
●感電の恐れがあります。	 水ぬれ禁止

3）使用中は両手で確実にハンドルを保持してください。	
●不用意な持ち方は、本体がはね返り（キックバック）、けがの原因になります。	 両手でしっかり保持する

4）ソーチェーンの張りの調整を確認してから使用してください。	
●張りの調整が不良のとき、ガイドバーからソーチェーンが外れ、けがの原因になります。	 取扱説明書に従って取付ける

5）はしごや木に登って作業をする（肩の高さより高い位置で使用）など、不安定な姿勢で使用しないでください。	
●けがの原因になります。	 安定した姿勢で使用する

6）ガイドバーの先端部での切断はしないこと。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。	
●本体がはね返り（キックバック）、けがの原因になります。	 はね返り （キックバック）

7）使用中は、ソーチェーン、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。	
●けがの原因になります。	 接触禁止

8）使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って差し込みプラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買いあげの販売店に点検・修理を依頼してください。	
●そのまま使用していると、けがの原因になります。	 差し込みプラグをコンセントから抜く

⚠ 警告

9）誤って落としたり、ぶつけたときは、ソーチェーン、ガイドバーや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

●破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

機体に異常がないかよく点検してください

10）（事業者の方へ）樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は法、規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

（関連法令：労働基準法　第59条３項、安全衛生特別教育規程　第10条の２、労働安全衛生規則第36条８号の２）。

⚠ 注意

1）使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

●火災・感電の恐れがあります。

差し込みプラグをコンセントから抜く

2）使用しないときは、ガイドバーにカバーをし、ソーチェーンがむき出しにならないようにして、お子様の手の届かないところに保管してください。

●けがの原因になります。

接触禁止

3）スイッチを入れるとき、ソーチェーンが材料や他のものに当っていないことを確認してください。

●本体が引張られたり戻されたりして、けがの原因になります。

異物に当っていないことを確認

4）作業中は、常に手袋、保護めがね、耳栓を使用し、履物は滑りにくいものを着用してください。

●けがの原因になります。

手袋を着用

5）木材に石、釘などの異物がないことを確かめてください。

●ソーチェーンが石などに当ると、けがの原因になります。

材料に異物が付いていないか確認

6）切断する材料は、確実に固定すること。また切落とし材に注意してください。

●木材が振れ回ったり、落下してけがの原因になります。

切削材料はしっかり固定する

⚠ 注 意	
7）切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。	
●ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。	 支え台を設ける

8）本体を起動させたまま床などに放置しないでください。	
●けがの原因になります。	 起動したまま放置しない

二重絶縁について

●電気の流れる部分と本体との間が異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。
たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。
異なった部品と交換したり、間違って組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなりますので組立や部品の交換はお買いあげの販売店、または全国各地の東芝電動工具サービスショップで行ってください。

キックバックについて

●キックバックとは、ガイドバーが反力で使用者の方向に跳ね上がる現象を言います。
キックバックの原因は、ソーチェーンの回転中にガイドバーの先端部が異物に接触したときや木にガイドバーの先端部がはさまれたときに起こります。
取扱説明書の注意事項を必ず守ってください。

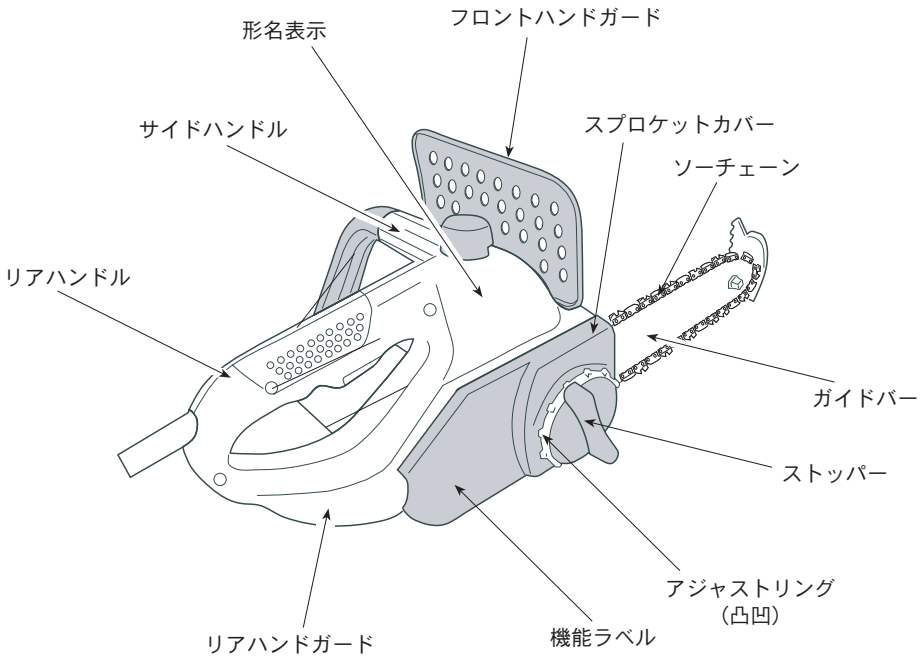
おすすめ

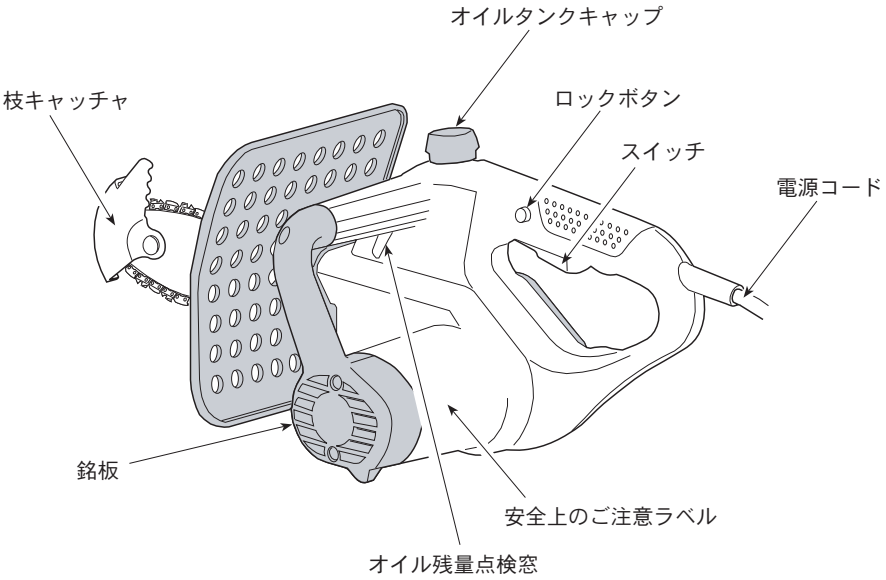
●漏電しゃ断器の設置をおすすめします。
二重絶縁構造製品は法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万が一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

騒音防止規制について

●騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

各部のなまえ


形名表示
フロントハンドガード
サイドハンドル
スプロケットカバー
ソーチェーン
リアハンドル
ガイドバー
ストッパー
アジャストリング
（凸凹）
リアハンドガード
機能ラベル


オイルタンクキャップ
枝キャッチャ
ロックボタン
スイッチ
電源コード
銘板
安全上のご注意ラベル
オイル残量点検窓

仕　様

形　　名	HC-205A
使　用　電　源	電圧：100V　単相交流50-60Hz
電　　流	4.7 A
消　費　電　力	450 W
定　　格	30 分
有効切断長さ	130　mm
ガイドバーサイズ	200mm【8インチ】
ソーチェーン	N4C-BL-33E
ソーチェーンスピード	4 m/s
オイルタンク容量	75mL
電源コード	2心キャブタイヤコード0.2m
質　量（コード含む）	1.9 kg
機体寸法（長さ×幅×高さ）	446mm×210mm×190mm
絶　縁　方　式	二重絶縁

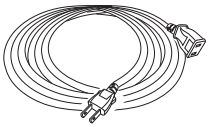
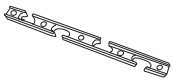
安全上のご注意ラベルについて

特に重要と考えられる事項について「安全上のご注意ラベル」を貼り付けてあります。

部品コード　775　39　001

本体のラベルが剥がれてなくなったり、文字が消えて読めなくなった場合には、部品コードを指定してラベルを販売店から購入し、元の位置に貼ってください。

付属品

			
チェーンオイル（90mL）	延長コード（10m）	チェーンカバー	抜け止めホルダ
数量：1個	数量：1個	数量：1個	数量：1個

点　検

本体で損傷した箇所はないか、また、付属品の欠品はないか確認してください。
万が一、不具合な点がありましたらお買いあげの販売店へご連絡ください。

用　途

■木材の切断（Φ130mm以下の丸太や□130mm以下の角材）
■細木の切断（庭木の剪定・枝払い）

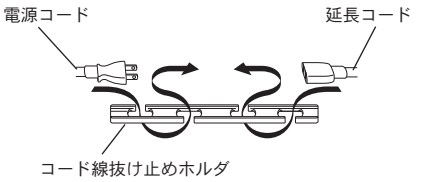
正しい使い方

■ 操作方法

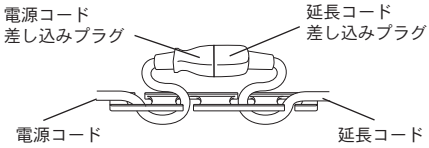
【1】コードの接続

⚠ 警告	
● 電源コードを延長コードに接続する前に、本機のスイッチが切れているか確認してください。また、延長コードの差し込みプラグ（コンセント側）が電源コンセントに接続されていないことを確認してください。	
● 電源コード、延長コードに損傷がないか確認してください。	・スイッチが切れていることを確認。
● 電源コンセントの点検をしてください。延長コードの電源コンセント側への差し込みプラグを差し込んだときにガタガタだったりすぐに抜けるようでしたら修理が必要です。	・差し込みプラグが抜けていることを確認。 ・損傷がないか確認。

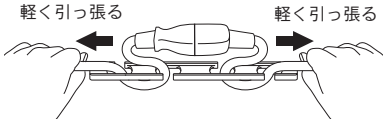
● 右図のようにコード線抜け止めホルダの４つの穴に電源コードと延長コードを矢印のように通してください。（このように通すことで、使用中に電源コードの差し込みプラグから延長コードが抜けるのを防止します。）



● 右図のように電源コードの差し込みプラグと延長コードの差し込みプラグを接続してください。



● 右図のように電源コードと延長コードのコード部をつまみ、矢印の方向に引っ張り抜けないことを確認してください。

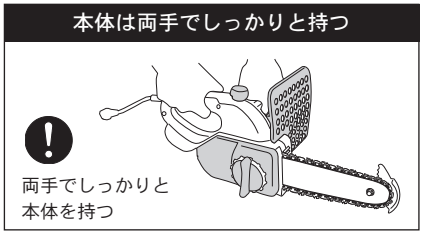


● 電源コードと延長コードが抜けないことを確認したら 延長コードの差し込みプラグを電源コンセントへ差し込んでください。

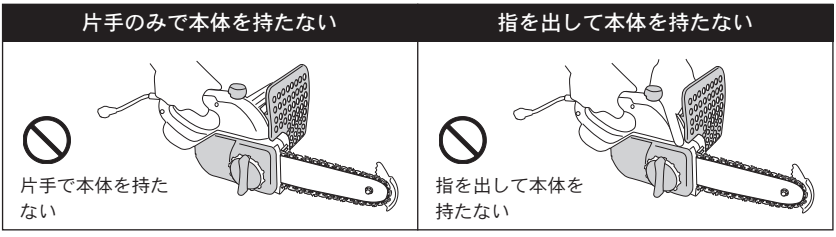
【2】チェーンソーの持ち方

● 保護手袋を着用して右図のように必ず両手でしっかりと本体を持ってください。

注 ・下図のように本体を片手で持ったり、指を出して持つと本体が不安定になり、事故の原因になります。



こんな持ち方はダメ！！！



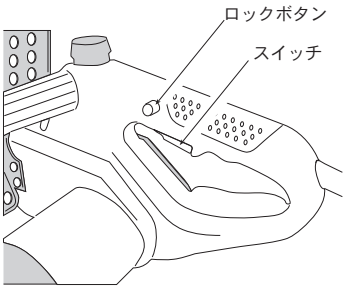
【3】スイッチの操作方法

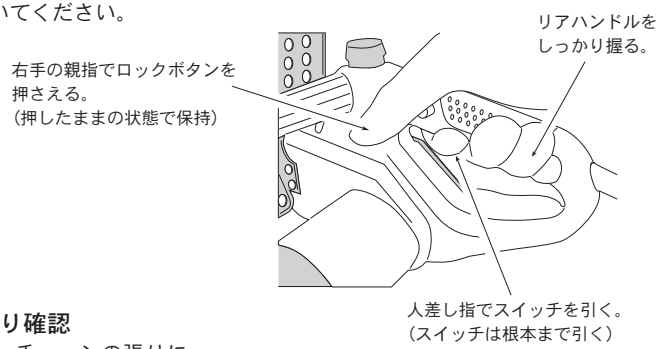
⚠ 警告	
● スイッチが切れていることを確かめてください。	
スイッチが入っているのを知らずに差し込みプラグをコンセントに差し込むと、不意に起動し事故のもとになります。	スイッチが切れていることを確認
● 必ず銘板に表示されている電圧で使用してください。	
100Ｖ仕様のものを200Ｖで使用すると、モータの回転が異常に高速となり機体が破損するおそれがあり大変危険です。	指定の電圧で使用する
● スイッチを入れるとき、ソーチェーンが材料や他のものに当っていないことを確認してください。	
機体が引張られたり戻されたりして、けがの原因になります。	ソーチェーンが異物に当っていないか確認

● ロックボタンを押さないとスイッチを引くことのできないオフロック機構です。

1. 左右の両手でハンドルをしっかりと持ちます。
2. 右手の親指でロックボタンを押したまま人指し指で、スイッチを引くとソーチェーンが回ります。スイッチは根元まで引いてください。

注 ・本体を動かすときは、周りに人、物がないことを確認し、注意しながらスイッチを引いてください。



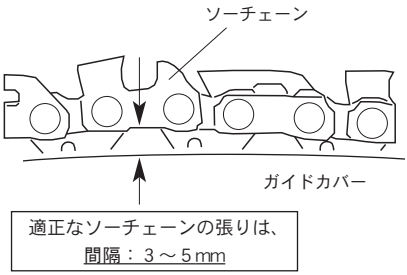


■ ご使用前の準備

【1】ソーチェーンの張り確認

● 右図のように適正なソーチェーンの張りになっているか確認してください。

1. 左右の両手に必ず保護手袋を着用してください。
2. 本体を平らな面に置いて、ソーチェーンを片方の手（左右どちらでも可）でつまみます。
3. 本体が浮かない程度に持ち上げ、右図のような隙間があるか確認してください。
4. 隙間が３～５ｍｍ以外の場合は、Ｐ14「ソーチェーンの張り調整」１～４の要領で適



正しい使い方（つづき）

【2】チェーンオイルの給油

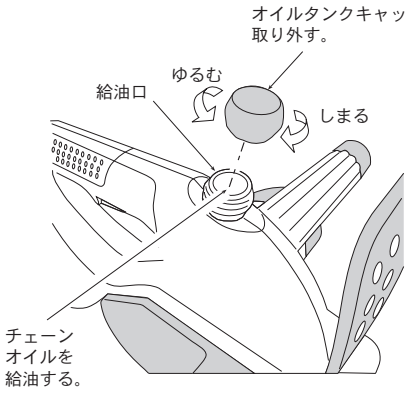
● 右図のようにオイルタンクキャップを左に回（ゆるむ）して取り外してください。

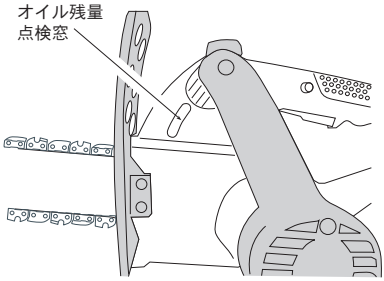
● 給油口へ付属のチェーンオイルを給油してください。

● 給油が終わったらオイルタンクキャップを右に回（しまる）して、油漏れ防止の為にしっかりと閉めてください。

注 ・付属のチェーンオイルは90mLです。１度にすべて給油できないので注意してください。

● チェーンオイル残量は、右図のようにオイル残量点検窓から確認できます。チェーンオイルを補充する目安は、点検窓から見えなくなる程度が目安です。





【3】コード接続

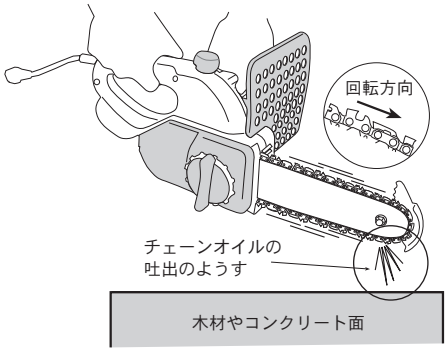
● 操作方法の【1】の要領で電源コードと延長コードを接続し、延長コード差し込みプラグを電源コンセントへ接続してください。

【4】持ち方

●操作方法【2】の要領で保護手袋を着用して必ず両手でしっかりと本体を持ってください。

【5】スイッチの入れ方・オイル吐出確認

● 操作方法の【3】の要領でスイッチを入れて本機を運転させ、チェーンオイルが出ているか確認してください。右図のように木材やコンクリート面などに向けて運転し、チェーンオイルが飛散すれば、ソーチェーン、ガイドバーにチェーンオイルが潤滑（いきわたる）しています。



注 ・２～３分運転してもチェーンオイルが飛散しない場合はP14「ソーチェーンの交換」の要領でソーチェーン、ガイドバーを取りはずし、チェーンオイルの吐出口周り、ソーチェーン、およびガイドバー溝に切粉・異物がたまっていないか確認し、それらを取り除いてください。
・清掃後は、上記逆の手順にてソーチェーン、ガイドバーを取り付けて、Ｐ14「ソーチェーンの張り調整」の要領でソーチェーンの張りを調整して使用してください。

【6】切断

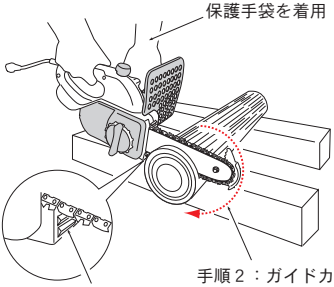
⚠ 警告	
● 使用中は両手でしっかりとフロントハンドルとリアハンドルを保持してください。 本体がはね返り（キックバック）、けがの原因となります。	 しっかりと両手で保持する
● チェーンソーの延長線上に体を置かないようにしてください。 キックバックが起きたときに危険です。	 チェーンソの延長線上に体を置かない
● ソーチェーンを取扱うときは、保護手袋を必ず着用してください。 けがの原因になります。	 保護手袋を着用する
● ガイドバーの根元部分で切断してください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないようにしてください。 先端部で切断すると、本体がはね返り（キックバック）けがの原因になります。	 接触禁止
● 木材は、地面やその他の物から出来る限り離して固定してください。 ソーチェーンが、地面やその他の物に接触すると、けがの原因になります。	 接触禁止
● 自分の肩の高さより高い位置で使用しないでください。 けがの原因になります。	 自分の肩の高さより高い位置で使用禁止
● 本機を動かすときは、周りに人、物がないことを確認してから使用してください。 おもわぬ事故の原因になります。	 周囲に人、物がないことを確認

⚠ 注意	
● 軽い切断材料は、台の上などに置いて確実に固定してください。 また切落とし材の下に足（身体の一部）がこないように十分に注意してください。 けがの原因になります。	 切断材料はしっかりと固定
● 作業場は整頓し、明るくしてお使いください。 けがの原因になります。	 作業場は整理し明るい場所
● 切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟みこまれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。 ガイドバーが挟みつけられるとけがの原因になります。	 支え台を設ける

正しい使い方（つづき）

丸太の切断

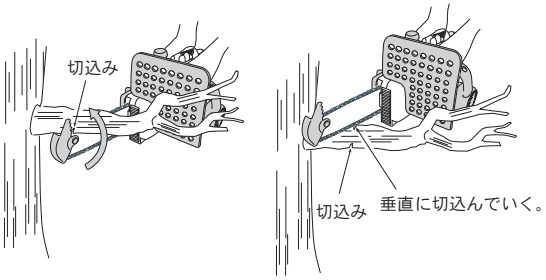
- 操作方法【2】のチェーンソーの持ち方のようにリアハンドルとサイドハンドルを両手でしっかりと持ってください。
- ソーチェーンが木材などに当っていないことを確認してロックボタンを押してスイッチを引いてください。
- ソーチェーンが最高速度（5秒程度）になるまで、そのまま保持してください。
- 右図（手順1～2）のように切断は本体の根元を中心として先端部が弧をえがく様に切り込んでいきます。
- 無理に押しつけたり、切断途中に本体をこじったりしないでください。
- 完全に切断してからスイッチをはなしてください。



細木の切断

◆ **枝キャッチャの使用方法**

- 右図1のように切断したい枝の下部に枝キャッチャを当てて、その箇所を起点にそのまま上に切り込んでいきます。
- 切り込みを入れたら、右図2のようにその上部から、垂直に切落とします。



お手入れのしかた

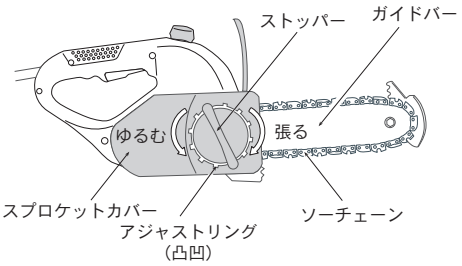
⚠ 警告	
● 手入れ・点検の際は、必ずスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。	
火炎・感電の恐れがあります。	差し込みプラグをコンセントから抜く
● ソーチェーンの刃は鋭いので取り扱いのときは必ず両手に保護手袋を着用してください。	
けがの原因になります。	必ず保護手袋を着用

■ソーチェーンの張り調整・交換

⚠ 警 告	
●ソーチェーンの張りを調整・交換のときは本体のスイッチが切れていることを確認してください。	
スイッチが入っているのを知らずに差し込みプラグをコンセントに差し込むと不意に起動し思わぬ事故のもとになります。	スイッチが切れていることを確認
●ソーチェーンの張りはいつも適正な状態にしてください。新品のソーチェーンは初期伸びが　発生しますので、試運転を数分間行った後、張りの点検をしてください。また、新しいうちは、こまめにソーチェーンの張りを点検してください。	
ソーチェーンの張りがゆるいとソーチェーンが外れけがの原因となります。また、張りがきついと、モータやガイドバーに異常な力が加わり発熱してやけどや故障の原因となります。	こまめにソーチェーンの張りを点検し、常に適正な状態にする。

●ソーチェーンの張り調整

1. ストッパーをつまみ、左に回してください。
2. アジャストリング（凹凸）を回してソーチェーンの張りを調整します。右に回すとソーチェーンが張り、左に回すとソーチェーンがゆるみます。
3. ソーチェーンの張りを確認します。確認手順は、P 10「ソーチェーン張り確認」の要領で行ってください。
4. ソーチェーンが適正な状態に調整できたらストッパーを右に回して締め付けてください。

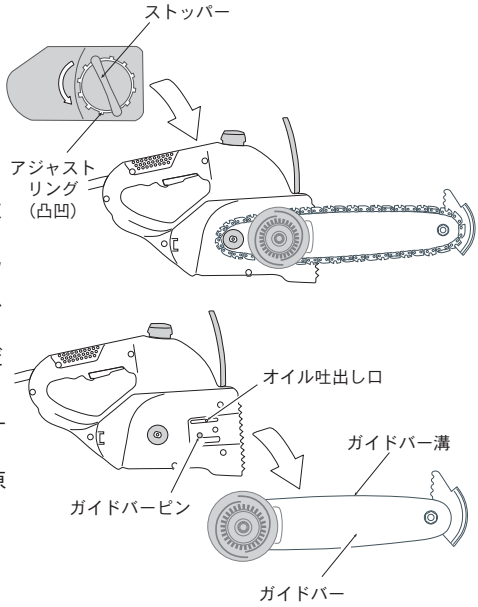


●ソーチェーンの交換

【1】ソーチェーンの取外し方

1. ストッパーを左に回して空回りする程度までゆるめてください。
2. アジャストリング（凹凸）を左に回してソーチェーンの張りをゆるめ、その状態でスプロケットカバーを取外します。
3. ガイドバーとソーチェーンを取外してください。

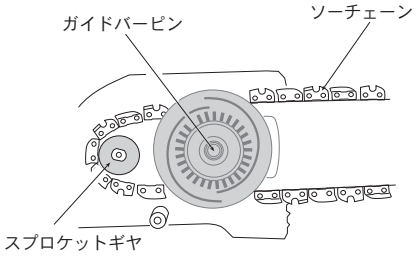
注 ・ソーチェーン、ガイドバー溝、オイル吐出し口及びその周辺の切粉・異物を取除いてください。故障の原因になります。



お手入れのしかた（つづき）

【2】ソーチェーンの取付け方

1. 右図のようにソーチェーンをガイドバー溝にはめ込み、組み合わせたものをガイドバーピンにはめながら、スプロケットギヤにソーチェーンを引掛けます。
2. スプロケットカバーを取付け、アジャストリング（凹凸）を右に回して締つけてください。（仮止め状態です。）
3. ソーチェーンの張り調整を行ってください。手順はP14「ソーチェーンの張り調整1～4」の要領です。



注 ・ソーチェーンをガイドバー溝にはめ込む際は刃の向きに注意してください。反対に付けたまま切断すると、切れにくくソーチェーンの刃が早期磨耗します。

■チェーンオイルの補充

1. チェーンオイルを補充するときは東芝純正オイル（付属）または、エンジンオイル（夏：SAE30／冬：SAE10）でゴミなどの異物が混入していないものを使用してください。
2. チェーンオイルが本体内に無くなった、または不十分な状態で使用すると、ソーチェーン（切削部）と切削材との間の摩擦が大きくなり、ソーチェーン、ガイドバーの早期磨耗やモータ焼損の原因になります。こまめ（使用前・中・後）に給油をしてください。
給油方法はP11「チェーンオイルの給油」の要領で行ってください。

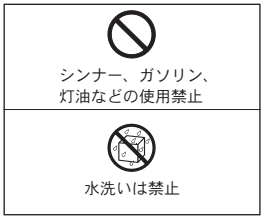
■清　掃

●切りくずの清掃

1. ソーチェーン、ガイドバー溝、オイル吐出口の穴およびその周辺に付着している切粉・異物を歯ブラシなどで取り除いてください。

●外観の清掃

1. プラスチック部分の汚れは、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、きつく絞った状態でふいてください。ガソリン、シンナーや灯油などは変形やワレの原因になるので使用しないでください。
2. 水洗いは絶対にしないでください。故障の原因になります。



■定期点検

1. 各部ネジのゆるみがないか、ヒビ、ワレなどはないか確認してください。もしゆるみがある場合は締め直してください。ヒビ、割れなどがある場合は使用を止め、お買い求めの販売店、または全国各地（P17）の東芝電動工具サービスショップに修理依頼してください。

■ソーチェーンの目立て

以下の手順（①～⑥）で目立てをおこなってください。

① ソーチェーンの張りを適正に調整してください。（P 14ソーチェーンの張り調整１～４参照）

↓

② チェーンソ本体が動かないようにしっかりと固定してください。

↓

③ 直径４mmの丸やすり（市販品）を使用して、右図のように刃の角度をそろえてください。

↓

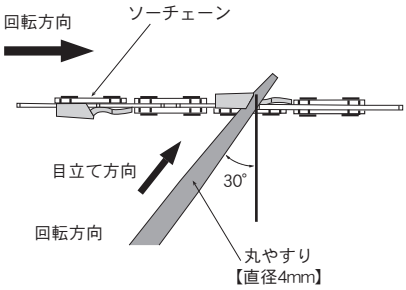
④ 丸やすりは右図のようにカッターの内側から外側に向けてかけてください。丸やすりを２～３回押し出すだけで刃は鋭くなります。

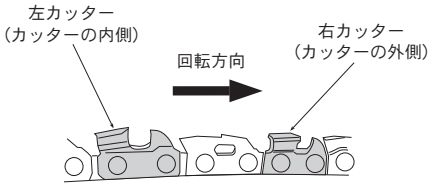
↓

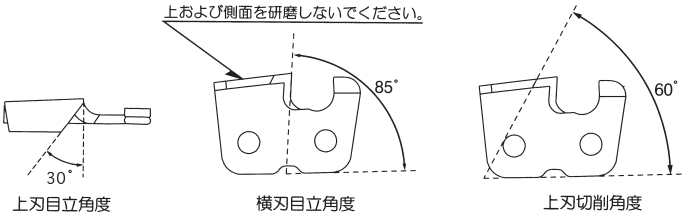
⑤ 目立ては右図のように左右のカッターの片方のみをまず目立てし、その後残りの一方を目立てします。

↓

⑥ 仕上げ角度は下図のようになるよう目立ててしてください。







■保　管

1. ソーチェーンが錆びないようにチェーンオイルを塗ってください。
   ソーチェーンの切れ具合が悪くなります。
2. ソーチェーンカバーを取りつけてください。
   けがの原因になります。

■修理のときは

1. 本体の修理はご自分でなさらないで、お買い求めの販売店または全国各地の東芝電動工具サービスショップに依頼してください。